



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 渡部 裕幸

# 特集・道本部第56回定期大会

## 政治勢力結集し安倍政権打倒



大会には581人が参加し、25人の発言で方針が補強された=9月26日、札幌市

# 「給与制度の総合的見直し」絶対阻止

道本部は9月25・26日の両日、ホテルポールスター札幌で第56回定期大会を開き、全道から581人(うち女性77人13・25%)が参加した。1年間の運動方針と秋期闘争をはじめとする当面の闘争方針を決定し、「給与制度の総合的見直し導入阻止」、「安倍政権打倒にむけて第18回自治体統一選挙に全力をあげる」決議と大会宣言を採択した。

定期大会では、経過報告、運動方針、当面の闘争方針などを提案し参加者から、経過3人、方針に22人の発言があった。2014賃金確定闘争、現業公企統一闘争では、人事院は7年ぶりの給与引き上げ勧告を行っていたが、「給与制度の総合的見直し」の勧告を強行し

安倍首相は9月29日に臨時国会を召集し、所信表明演説を行った。力点を置いたのは「地方創生」と「女性活躍」だ。異論が出にくいテーマにして、来年の統一自治体選挙にむけた実績をつくり、「政権奪還完成を狙っている。また、「集

### 朝風

団的自衛権の行使容認「消費税10%引き上げ」には直接触れていない。原案は「再稼働を進める」と明言した。政権の体力を奪いかねない課題は、今国会では見送る姿勢だ。国民の声を無視する政策は許さない。声を上げ続けよう。

### 第55回定期大会特集号

- 2～3面 質議討論
- 4～5面 写真・まんが・機関紙コンクール・大会来賓あいさつ
- 6面 事前会議・評議会報告
- 7面 集团的自衛権撤回街頭行動・全道公衆衛生集会・職場だより「後志地本発」・中澤健次さん著書の紹介・えさきさんの国会だより
- 8面 2015年度道本部執行体制・今大会で退任しました

## 統一自治体選挙勝利に全力

### 道本部あいつつ

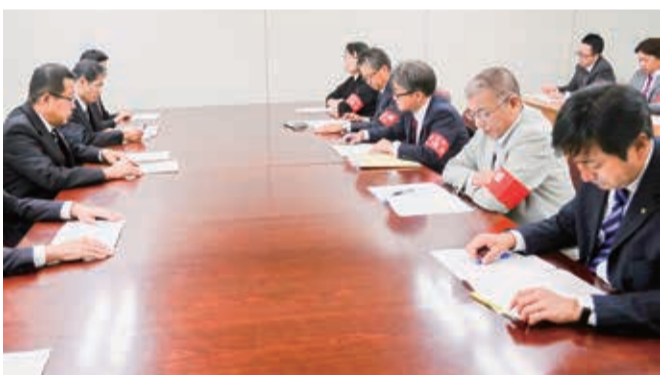
連続するたかいかいを進め



執行委員長・山上 潔

「春闘賃上げ」は、消費税増税分には及ばなかった。アベノミクスで良くなったといわれた日本経済だが、本道に求められている経済政策は、労働者の雇用・賃金労働条件を改善・回復することだ。アベノミクスの幻想に振り回されてはならない。

党を中心とするリベラルな政治勢力を結集してたたかう。当面する政治闘争の山場は、来春の知事選を頂点とする統一自治体選挙と、衆・参議院議員選挙だ。三つの政治決戦に勝利し、政権打倒の展望を切り開くため、一層のご奮闘をお願いする。人事院勧告は、7年ぶりの賃金引き上げとなったが、強く反対してきた



道人事業委員会との最終交渉の様子=10月1日、札幌市

10月3日、道人事業委員会、給与等に関する勧告は、①月例給は人事院勧告の内容に準じて引上げ、一時金は年間支給月数の引上げ(3・95月)4・05月、②通勤手当は、自動車等の交通用具使用者に係る通勤手当を引

### 『総合的見直し』人勧どおり勧告 月例給・一時金は引き上げ

10月3日、道人事業委員会、給与等に関する勧告は、①月例給は人事院勧告の内容に準じて引上げ、一時金は年間支給月数の引上げ(3・95月)4・05月、②通勤手当は、自動車等の交通用具使用者に係る通勤手当を引

### 賃金確定闘争スケジュール

- ◆要求書の全単組一斉提出日 10月24日(金) 時間外職場集会
- ◆回答指定日 11月4日(火)
- ◆重点交渉期間 11月5日(水)～11月21日(金)
- ◆組合期掲揚 10月24日(金)～闘争終結まで
- ◆腕章着用 11月17日(月)～闘争終結まで
- ◆超勤拒否 11月20日(木)～11月21日(金)
- ◆出張・諸会議拒否 11月21日(金)
- ◆道本部統一行動日(自治労第2次全国統一行動日) 11月21日(金) 1時間ストライキ

### 第26回 労文協 講座

- 期間 2014年10月～2015年3月
- 時間 18:00～20:00(講演1時間30分ほか質疑応答)
- 会場 北海道自治労会館(札幌市北区北6条西7丁目) 6回通し券2,000円・当日受講 500円
- 主催 労文協または自治労会館事務局
- ～テーマと講師～
- 1回目 10月15日(水) ツガル方言レッスン、詩の朗読と語り 工藤 正廣(北海道大学名誉教授・ロシア文学)
- 2回目 11月19日(水) フランス革命とヴァンデ 森山 軍治郎(民衆史家)
- 3回目 12月17日(水) 大逆事件と石川啄木 北村 巖(北海道文教大学講師)
- 4回目 1月21日(水) 三浦綾子「銃口」が投げかける問題 神谷 忠孝(北海道大学名誉教授)
- 5回目 2月18日(水) 見えてきた130億年前の宇宙 羽部 朝男(北海道大学大学院理学研究科・教授)
- 6回目 3月18日(水) 久々湊盆子の作品世界について 植栗 奈穂(歌人)

### JICHIRO スケジュール

- 10月
- 14日(火) 全道オルグ開始
- 17日(金) 第3回執行委員会(札幌市) OBL会秋期学習・交流会 第35回全国自治研集会(～18日、佐賀県)
- 18日(土) 2014現業公企統一闘争全道総決起集会(札幌市)
- 19日(日) 臨時・非常勤等職員の均等待遇と雇用安定を求める決起集会(大阪府)
- 21日(火) 10.21国際反戦デー札幌街頭行動(札幌市)
- 22日(水) 連合北海道「第5回北海道労働福祉講座」(札幌市)

### 道本部ホームページ

自治労北海道 検索 ユーザー名: minnade  
組合員専用ページは パスワード: danketsu2013

# 道政奪還！推せん候補勝利めざす

## 経過に関する質疑

■宿泊事業の利用率向上を



成田代議員  
(石狩地本・市町村共済労組)

医療の短期給付事業について、公費負担の充実に求めている必要がある。共済年金と厚生年金の一元化で、職域部分の堅持と年金払い退職給付

## 経過質疑に対する答弁



大出書記長

持続可能な社会保障制度維持にむけ、財政基盤が安定するよう、道本部厚生対策委員会での議論とあわせて関係各方面に意見反映を行う。宿泊施設は自分たちの砦を守るという姿勢で利用促進を働きかける。

## 議長団

スムーズに議事を進めていただいた、左から中嶋さん(羅臼町職労)、瀬川さん(増毛町職)、吉田さん(江別市職労)お疲れ様でした。



議長団

全道野球大会は、悪天候のなか、参加チームの理解と協力に感謝。13年ぶりの後志開催で、現地実行委員会を立ち上げ運営し、各単組の組織強化がはかられた。今後もあらゆる機会を通じて「どの組織強化をはかるのか」を常に意識し運動を進める。



山本代議員  
(空知地本・砂川市労連)

■市労連一丸で運動展開  
当局から市立病院の経営形態を全部適用に変更

「職場改善事態調査」を活用し、権利拡大にむけた、取り組みが広がっている。「給与制度の総合的見直し」「人事評価制度の導入」で、女性労働者がさらにも利益を受けることがないよう意見反映を行う。

## 各評議会報告

■公共民間労組協議会

スポーツ大会は、その取り組みのなかで組織強化につなげていかなければならない。今後も組織強化の視点を持ち進める。

単独単組としての組織運営を行う上での不安の解消、克服にむけた取り組みの報告がされた。労働条件が下がらないため、労働組合がどうたてかか重要になる。全体で学びあいたい。



日高代議員  
(胆振地本・室蘭福祉事業協会労組)

指定管理者で、非公募から公募になったことで事業体が解散となり希望退職、整理解雇を選択せざるを得ない状況がある。議案の「指定管理者制度廃止も視野に入れた」という方針を支持し、今後も自治体単組の協力を要請する。

臨時・非常勤等職員連絡会議  
■臨・非組織化、具体的に

厳しい環境でも、単組の新たな環境で、現業職員の新規採用を勝ち取った単組もある。労働組合や評議会の必要性を再確認しながら、当面する現業公企統一闘争で質の高い

「現業公企評議会」  
■現業統一闘争に主力

6月に医療介護総合推進法が成立。都道府県の権限が強化され、官民問わず統合再編が想定される。民間の医療職場では未組織職場が多い。社会保障政策は政治への意見反映が重要。知事選の候補擁立を早急にしてほしい。

「社会福祉評議会」  
■違法労働への対策が必要

指定管理者制度について、雇用不安・サービスの質の問題等がある。制度そのものの廃止も含め、あり方を検討する必要がある。

臨・非の処遇改善について「総務省通知」の学習会を開く。全単組での改善にむけた取り組みが必要。

青年部独自の取り組みを各単組も波及してほしい。また、女性部や青年部役員の交渉参加も合わせてお願いする。

統一選は、早期の知事候補擁立の希望が全体の意見だと思ふ。精力的に検討がされている。引き続き意見反映するとともに、道政奪還と推せん候補の勝利をめざして、臨戦態勢の確立と推せん決定を含めた取り組みをお願いする。道本部も組織の総力を挙げて取り組む。夕張問題は、道本部としても自治労本部と連携して対策を進めてきた。引き続き、この課題を全体で共有化しながら対応する。

「連合の労働者保護ルールキャラバン」がスタートした。ホワイトカラー

安倍政権の決定的な問題点は、労働の規制緩和と経済界の言いなり。労働

世論を喚起する運動を取り組む。各地域でも取り組みをしてほしい。

立保育所で36協定が締結されていない。違法労働へ対策が必要。社会保障制度改革の推進は行政、地域住民との連携が必要。

確定闘争で、自治体要請行動・学習を強化してきた。要請行動など共同で取り組み、青年が交渉に参加できる体制づくりを。

政治闘争では、普段から青年とともに政治闘争の意義を確認する場をつくり丁寧な運動が必要。青年が前向きに参加できる環境づくりを。

民主党は、海江田代表が再任し自治労として党3役に対して、民主党に

対峙すること、考えを一致させることを申し入れた。地方創生会議は自民党の統一選対策。安倍首相

「青年部」  
■青年が参加できる環境づくりを

政治闘争では、普段から青年とともに政治闘争の意義を確認する場をつくり丁寧な運動が必要。青年が前向きに参加できる環境づくりを。

民主党は、海江田代表が再任し自治労として党3役に対して、民主党に

対峙すること、考えを一致させることを申し入れた。地方創生会議は自民党の統一選対策。安倍首相

対峙すること、考えを一致させることを申し入れた。地方創生会議は自民党の統一選対策。安倍首相

## 方針質疑に対する答弁



藤盛副委員長

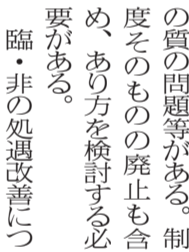
指定管理者制度について、雇用不安・サービスの質の問題等がある。制度そのものの廃止も含め、あり方を検討する必要がある。

臨・非の処遇改善について「総務省通知」の学習会を開く。全単組での改善にむけた取り組みが必要。

青年部独自の取り組みを各単組も波及してほしい。また、女性部や青年部役員の交渉参加も合わせてお願いする。

統一選は、早期の知事候補擁立の希望が全体の意見だと思ふ。精力的に検討がされている。引き続き意見反映するとともに、道政奪還と推せん候補の勝利をめざして、臨戦態勢の確立と推せん決定を含めた取り組みをお願いする。道本部も組織の総力を挙げて取り組む。夕張問題は、道本部としても自治労本部と連携して対策を進めてきた。引き続き、この課題を全体で共有化しながら対応する。

「連合の労働者保護ルールキャラバン」がスタートした。ホワイトカラー



難波副委員長

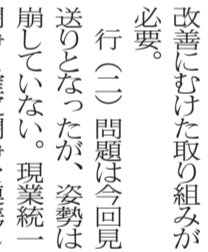
指定管理者制度について、雇用不安・サービスの質の問題等がある。制度そのものの廃止も含め、あり方を検討する必要がある。

臨・非の処遇改善について「総務省通知」の学習会を開く。全単組での改善にむけた取り組みが必要。

青年部独自の取り組みを各単組も波及してほしい。また、女性部や青年部役員の交渉参加も合わせてお願いする。

統一選は、早期の知事候補擁立の希望が全体の意見だと思ふ。精力的に検討がされている。引き続き意見反映するとともに、道政奪還と推せん候補の勝利をめざして、臨戦態勢の確立と推せん決定を含めた取り組みをお願いする。道本部も組織の総力を挙げて取り組む。夕張問題は、道本部としても自治労本部と連携して対策を進めてきた。引き続き、この課題を全体で共有化しながら対応する。

「連合の労働者保護ルールキャラバン」がスタートした。ホワイトカラー



岸中央執行委員

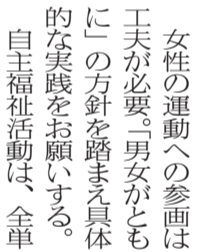
指定管理者制度について、雇用不安・サービスの質の問題等がある。制度そのものの廃止も含め、あり方を検討する必要がある。

臨・非の処遇改善について「総務省通知」の学習会を開く。全単組での改善にむけた取り組みが必要。

青年部独自の取り組みを各単組も波及してほしい。また、女性部や青年部役員の交渉参加も合わせてお願いする。

統一選は、早期の知事候補擁立の希望が全体の意見だと思ふ。精力的に検討がされている。引き続き意見反映するとともに、道政奪還と推せん候補の勝利をめざして、臨戦態勢の確立と推せん決定を含めた取り組みをお願いする。道本部も組織の総力を挙げて取り組む。夕張問題は、道本部としても自治労本部と連携して対策を進めてきた。引き続き、この課題を全体で共有化しながら対応する。

「連合の労働者保護ルールキャラバン」がスタートした。ホワイトカラー



平川中央特別執行委員

指定管理者制度について、雇用不安・サービスの質の問題等がある。制度そのものの廃止も含め、あり方を検討する必要がある。

臨・非の処遇改善について「総務省通知」の学習会を開く。全単組での改善にむけた取り組みが必要。

青年部独自の取り組みを各単組も波及してほしい。また、女性部や青年部役員の交渉参加も合わせてお願いする。

統一選は、早期の知事候補擁立の希望が全体の意見だと思ふ。精力的に検討がされている。引き続き意見反映するとともに、道政奪還と推せん候補の勝利をめざして、臨戦態勢の確立と推せん決定を含めた取り組みをお願いする。道本部も組織の総力を挙げて取り組む。夕張問題は、道本部としても自治労本部と連携して対策を進めてきた。引き続き、この課題を全体で共有化しながら対応する。

「連合の労働者保護ルールキャラバン」がスタートした。ホワイトカラー

指定管理者制度について、雇用不安・サービスの質の問題等がある。制度そのものの廃止も含め、あり方を検討する必要がある。

臨・非の処遇改善について「総務省通知」の学習会を開く。全単組での改善にむけた取り組みが必要。

青年部独自の取り組みを各単組も波及してほしい。また、女性部や青年部役員の交渉参加も合わせてお願いする。

統一選は、早期の知事候補擁立の希望が全体の意見だと思ふ。精力的に検討がされている。引き続き意見反映するとともに、道政奪還と推せん候補の勝利をめざして、臨戦態勢の確立と推せん決定を含めた取り組みをお願いする。道本部も組織の総力を挙げて取り組む。夕張問題は、道本部としても自治労本部と連携して対策を進めてきた。引き続き、この課題を全体で共有化しながら対応する。

「連合の労働者保護ルールキャラバン」がスタートした。ホワイトカラー

## 政治フォーラム報告



高橋道議会議員

自民党道民会議は高橋道政の検証をまとめたが、検証内容を公表して

## 中央情勢報告



氏家中央執行委員長

民主党は、海江田代表が再任し自治労として党3役に対して、民主党に

対峙すること、考えを一致させることを申し入れた。地方創生会議は自民党の統一選対策。安倍首相

「連合の労働者保護ルールキャラバン」がスタートした。ホワイトカラー

安倍政権の決定的な問題点は、労働の規制緩和と経済界の言いなり。労働





一般の部  
最優秀賞(1点)



# 2014 機関紙

# 第47回 写真・まんが

# コンクール 審査発表



「動感」、「躍動感」が宿っている  
9月17日、道本部で「第47回写真コンクール」の審査を行った。今年の写真コンクールには、過去最高の28人から69作品の応募があった。審査員は昨年引き続き、写真家のKEN五島さんにお願ひし、送られてきた69作品を審査した上で講評をいただいた。五島さんは、「いずれも画面内に動感、躍動感が宿っており、構図の決め方も秀逸だ。ドキュメンタリーあふれる作品が多かった。どの作品も真剣に写真にむかう姿勢を感じた。また、観察力のすごさを感じ、日々の生活の中で物事を真剣に取り組みむことが想像できる作品ばかりだった」と講評した。

## 「暁雲」全道庁労連札幌医大労組

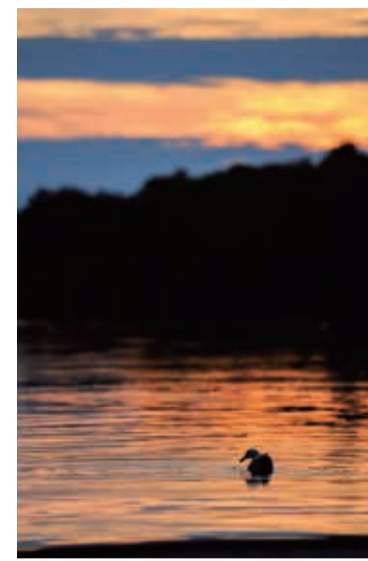


## 全道庁労連十勝総支部 「にわたずみ」

札幌市職連  
優秀賞(2点)  
「自治労さつぽろ」

## まんがコンクール 最優秀賞

標茶町職労  
篠塚 洋之さん



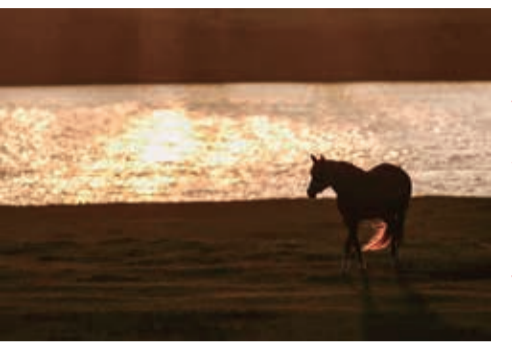
「晩夏の黄昏」  
当別町職  
青山 晃一さん

【講評】  
水面の躍動感、背景、夕日をうまくとらえている。右下に鳥がいるとこも良い。写真の質の高さを感じる。



「かわいくしてね」  
札幌病職労  
牛島 夏木さん

【講評】  
女の子の強いまなざしと、大きな手に包まれた顔、手の動感がうまくなっている。背景のぼかしも良い。技術の高さを感じる写真。



「夕暮れの馬」  
恵庭市職労  
水野 光代さん

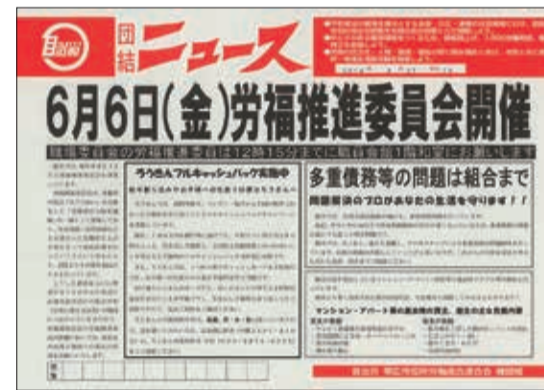
【講評】  
馬の表情が伝わってくるようなシルエットが素晴らしい。地面のシャドウとハイライトの描き方がとてもバランスが良い。

## 最優秀賞(1点)



「しゃぼん玉」  
標茶町職労 篠塚 洋之さん

【エピソード】  
甥と姪が庭先で、しゃぼん玉をあまりに楽しそうに追いかけていたので、カメラを取り撮影しました。  
【講評】  
「静」と「動」のバランスが一番良く取れていた。子どもの笑顔と、しゃぼん玉が宙に舞っているところに勢いを感じられて良い。それが写真全体の良きにつながった。



自主福祉の部  
優秀賞(2点)

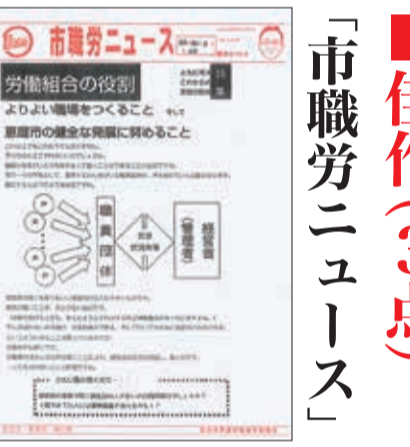
## 「団結ニュース」帯広市労連



## 「ニュース」岩見沢市職



「自治労しべちや」



佳作(3点)

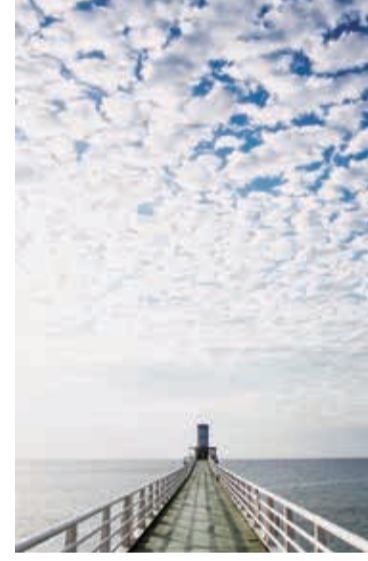
標茶町職労



恵庭市職労



北見市労連



「鱗雲」  
苫小牧市体育協会職労組  
浅田 幸広さん

【講評】  
大胆に空をとることで空が降ってくるような感じがする。上と下のバランスが良く、斬新で面白い写真。



「鏡の中の自分」  
石狩市職労 吉田 学さん

【講評】  
子どもの表情が素晴らしい。手前へ近づいてきて、鏡の枠があることで借景になっているように見えて良い。



「海中散歩」  
全道庁労連札幌医科大労組  
菅原 康介さん

【講評】  
構図やグラデーションが素晴らしい。綺麗な色使いを感じる写真。



「明日の光を大切に」  
佐呂間町職  
永野 正さん

【講評】  
構図やグラデーションが素晴らしい。ピントの合わせ方に技術を感じる。



「元気ハツラツ」  
標茶町職労  
小野寺陽介さん

【講評】  
撮影している側の表情も伝わってくるような写真。すこく癒やされる。



「お祭りわっしょい！」  
札幌市職連  
峯垣 茂徳さん

【講評】  
子どもの楽しそうな感じと、神輿をかつく躍動感が良い。



「とったよお〜たべよお！」  
札幌市職連  
中宮日呂香さん

【講評】  
収穫した野菜を目の前に、新鮮な喜びが表情に出ていて良い。



「曾祖母とひ孫」  
札幌市職連  
横幕 力夫さん

【講評】  
こういう瞬間はありそうでない。貴重な時間だったと伝わってくる写真。



「お姉ちゃんがいるから大丈夫!!」  
標茶町職労  
高橋 隼人さん

【講評】  
優しい眼差し、見守っている感じに優しさを感じる写真。



「すっぱいしたあ〜」  
赤井川村職  
神 信弘さん

【講評】  
子どもが生き生きとした表情で、とても面白い写真。



「ようこそ！」  
標茶町職労  
田代 忠司さん

【講評】  
子どもの驚きと感動が伝わってくる、貴重なドキュメンタリー写真。



「求愛ダンス」  
全道庁労連札幌総支部  
森崎 勉さん

【講評】  
人と変わらない鶴の感じに、生命力の強さを感じ癒やされる。



まわりの道本部の進め本を執筆した。労働運動や議員活動について書いた。是非読んでもほしい。民主党は全体の支持を集めなければならない。自治労に結果を期待して運動を展開することが重要だ。



日本は4月から武器輸出が解禁になる。一人でも仲間を増やそう。



暴走する安倍政権を食い止めるため、みなさんとともにたたかいていく。統一選での支援をお願いします。



日ごろからの支援に感謝。現役のみならずの置かれていく状況は厳しい。



未組織消防現場では、劣悪な職場環境で勤務している実態がある。自治体単組からの関わりをお願いします。



各ブロック・地域で運動の中核を担っている自治労のみならずに感謝。



北海道は住居サービスが低下しないよう新政策が必要であり、それが重要だ。



6月の戦争をさせない全国集会に参加した俳優の菅原文太さんが私は、戦争に反対することに反対する理由がないからこに来た」とあいさつした。



安倍政権は2014年4月太方針を閣議決定し、労働者レベルの改善を狙っている。これらは労働者の犠牲の上に成り立つものである。到底認められない。来年の統一選は、暴走政治にストップをかける重要なもの。その重要性を組合員に広めてほしい。



9月にヨーロッパ派遣研修に行き、海外の日本企業代表者と面談した。



働くものがもっと権利を主張すべきという意見が多かった。すべての地域が活き活きとできる社会にするために、今のバランスを欠いた政治を変えていかなければならない。



来賓あいさつ

# 2015道本部大会 事前会議・各評議会報告

## 現業公企評議会

### 協約締結権を活かし全力で

公共サービスを守る取り組みを強化する。当面する「2014現業公企統制」の勝利に向けて、現業公企や公共民間労働者など公共サービス労働者の権利を最大限に活用し、協約締結権を活かした取り組みを職場の組織を展開し、組織の強化をはからずして取り組む。



〔役員体制〕  
議長 浅野 康敏  
(釧路市役所労組)  
事務局次長 大西 誠  
(苫小牧市職労)

## 社会福祉評議会

### 介護職の処遇改善に取り組む

社会保障分野の制度改革が進むなか、評議会としても各職場の現状を把握し、さまざまな議論ができる体制づくりを行う。介護職の処遇改善や非正規化の問題について、各職場の状況把握や中央交渉を含めた取り組みを進めていく。



〔役員体制〕  
議長 塚越 寛  
(浜頓別町職)  
副議長 種谷 文秀  
(函館市職労)  
稲田 浩平  
(全道庁労連釧路総支部)  
萩原 寧昭  
(道社協職組)  
事務局次長 瀬戸 典仁  
(保育部会から選出)  
事務局 相内 利幸  
(札幌市職連)

## 女性部

### 誰もが安心して働き続けられる職場づくり

女性の団結を強化し、誰もが安心して健康に働き続けられる職場をつくる。基本組織の機関会議などに積極的に参加し、意見を反映する。



〔役員体制〕  
部長 選出 中  
副部長 北口 幸恵  
(妹背牛町職)  
高野 倫子  
(全道庁労連札幌総支部)  
書記長 佐藤 美香  
(名寄市職労)  
書記次長 基石 忍  
(猿払村職)

## 青年部

### 「仲間の声、職場の事実」にこだわる

「学習・交流・実践」を運動の柱に、厳しい情勢でも、仲間と丁寧に取り組むことで、要求の前進や仲間意識の強化につなげていく。



〔役員体制〕  
部長 斎藤 信  
(苫小牧市職労)  
副部長 樋口 和志  
(北斗市職労)  
齋藤 満希  
(江別市職労)  
書記長 佐藤 良太  
(全道庁労連胆振総支部)

## 衛生医療評議会

### 地域のまちづくりの視点で取り組む

道内病院の経営が厳しく、評議会集会への参加者も減少している現状に対し、評議会のあり方や運動の広がりについて検討する。医療を含めた社会保障制度改革が進んでおり、



〔役員体制〕  
議長 小林 一司  
(苫小牧市職)  
副議長 辻口有紀子  
(札幌病職労)  
後藤 並子  
(中標津町労連)  
真壁 英治  
(全道庁労連札幌総支部)  
長谷部 修  
(全道庁労連渡島総支部)  
事務局次長 居橋 真人  
(札幌病職労)  
事務局次長 選出 中

## 公共サービス民間労組協議会

### 要求・交渉・労働協約の締結めざす

適正な委託費等の確保と、指定管理業者制度の選定基準の改善など、重点課題解決に向け、自治体単組と連携し取り組みを強化する。あわせて処遇改善にむけ、全単組で要求



〔役員体制〕  
議長 鷲津 克之  
(室蘭福祉事業協会職員労組)  
副議長 北真 泰利  
(北海道環境施設ユニオン)  
石田トモ子  
(北海道福祉ユニオン)  
山崎 祐貴  
(北見市社会福祉協議会職員労組)  
川端 政宏  
(全北海道指定自動車学校労組協議会)  
事務局次長 高橋 直樹  
(名寄市社会福祉事業団職員労組)

## 消防職員協議会

### 団結権を見据え組織拡大・強化！

消防職員の団結回復と賃金・労働条件の改善、労働安全衛生の確立などの課題に取り組む。組織強化・拡大に総力を挙げて取り組む。



〔役員体制〕  
会長 菅原 宏仙  
(釧路東部消防協)  
副会長 田中 伸幸  
(江差消防協)  
三上 高鋭  
(室蘭市消防協)  
事務局次長 高橋 博  
(砂川消防協)  
事務局次長 松井 仁志  
(砂川消防協)  
山川 博  
(猿払消防協)

## 臨時・非常勤等職員連絡会議

### 未組織の仲間の組織化と組織強化を

常に雇止め不安にさらされている仲間の思いを受け止め、一人でも多くの仲間を増やし、発信力を高める。



〔役員体制〕  
議長 増田 光子  
(札幌病職労)  
副議長 佐藤 るみ子  
(札幌市職)  
伊藤 順子  
(札幌市職連)  
事務局次長 松本 敦子  
(札幌市職連)



確定闘争

# 世論結集し安倍政権ストップ!

10月1日、北海道平和運動フォーラム主催の「集団的自衛権」行使容認の閣議決定の撤回を求める街頭抗議行動が開かれ、300人が参加した。



300人が参加し、「集団的自衛権行使容認」の撤回を求めた

道平和運動フォーラム 中村代表が、「戦争をさせない1000人委員会」に「集団的自衛権行使容認させないためにどうすればいいか」と電話があった。自衛官を夫に持つ女性は、「私の夫は外国で戦争をするために自衛官になったのではありませぬ」と訴えてきた。安倍首相の説明では集団的自衛権を行使して戦争をするのは自衛官であり、そこで敵対する側と命のやり取りをすることにまったく触れていない。私たちが一人ひとりの命のやり取りに触れないのは当然許されない」と批判した。また、「6月12日の集会で俳優の菅原文太さんが『戦争反対に反対するいわれはないので、今日私はここに来た』とすばらしい発言をした。7月1日以降怒りは収まったのか? それではだめだ。もう一度を思いおこし怒ろ

う」と呼びかけた。民主党北海道・勝部幹事長は、「集団的自衛権が行使できる国づくりに断固反対の立場で取り組んできた。街宣を継続的に

行い、全道キャラバン行動を行ってきた。集団的自衛権の行使容認は絶対許してはならないと、賛同と連帯の声をいただいた」と述べた。さらに「安倍首相の説明には、たかさんの『うそやまやかし』があると声を大きくし国民に訴えていくべきだ。今回の国会では関連法案は提案されないが、提出されれば自民・公明が圧倒的多数で、食い止めるのは難しい状況だ。これまでの運動を強化して多くの国民が、安倍政権にストップをかける世論をつくっていかねばならない」と呼びかけた。

## 全道公衆衛生集会 医療・介護・保健・福祉 一体が重要



地域包括ケアについて講演した=9月14日、札幌市

国会が始まりました。本会議場のる言葉です。安倍総理や麻生財務大臣席には、注目を集める女性閣僚の面々が並んでいます。ヘイトスピーチを主導する在特会や国家社会主義を標榜する団体の代表らと記念撮りもされません。日本の民主主義の劣化は第二次安倍政権になって際立ってきました。影を行なう、その行動はとも国会議員とは呼べない皆さんたちです。国家社会主義をドイツ語の略称では「Nazi(ナチ)」と表現し、欧米社会では名乗ることさえはばから

9月14日、自治労会館で開き、単組総支部の組合員47人(うち女性13人)が参加した。自治労本部衛生医療評議会・野村議長が「地域包括ケアの推進にむけた保健師の役割と課題」をテーマに、地域包括ケアシステムとの経緯や、今後について講演した。野村議長は、「地域のなかでどう最後を迎えるか、その人らしく最後を迎えるための環境整備が重要で、そのために何が出来るかを考える必要がある」と述べた。また、自治労本部衛生医療評議会・伊藤邦彦事務局長が「地域包括ケアの実現にむけた保健師の役割と自治労の取り組み」について提起した。集会には、社会福祉職場からの参加もあり、医療・介護・保健・福祉が一体となった取り組みの重要性を確認した。

## えさきさんの国会だより



26  
安倍政権で民主主義が劣化  
劣化は第二次安倍政権になって際立ってきました。

## 『わすえていただいた八十年の歩み』 (1900円+税)

著者・中澤健次さん



道本部顧問の中澤健次さんが「傘寿」を迎え書きおろした「ささえていただいた八十年の歩み」。かつて道本部役員から衆議院議員となった、55年運動史を発刊した。  
★ご希望の方は、道本部までご連絡ください。

## 『総合的見直し』学習会で情報交換



職場だより

【後志地方本部発】9月17日、倶知安町・労働福祉センターで、後志地方本部及び地本青年部合同主催の「給与制度の総合的見直し」学習会を開き、19単組・総支部97人が参加しました(うち女性17人17.5%)。吉井地本執行委員長のあいさつのもと、榎部道本部賃金労働部長が『給与制度の総合的見直し』について講演し、給与と勤告の仕組みや今年の給与改定内容、そして『給与制度の総合的見直し』の概要について学習しました。また、今回は、青年部と一体となった取り組みができるように学習会を設定したので、組合員相互の情報交換をはかるこ



「給与制度の総合的見直し」について学んだ=9月17日、倶知安町

とができました。今後も単組・地本青年部とも連携を密にしながら取り組みを進め、運動を強化していきたいと思います。(後志地方本部書記長・中村 将)

## 忙中余話

今年10月で教育情宣担当2年目となった。機関紙のつくり方もわからなかったからなかった私が、この1年間機関紙の作成、ホームページの更新など教育情宣に関する指導を受け、行ってきただが、情報発信の重要性と難しさを実感している。またまた一人前にはなっていない気がする。機関紙はつくる人の感覚でレイアウトも見せ方も伝えようとする情報も変わるようになる。「機関紙は組合費の領収書です。(渡部裕幸)



玉井秀樹さん

玉井秀樹さんが退職  
1986年7月から道本部運動を担ってきた玉井秀樹書記が9月末で退職した。玉井さんは19歳で道本部に就職し、自治体政治局、自治労共済、札幌地域労組派遣を経験し、民間労働者の相談や組合づくりなどを経験した。

青年部、組織部、札幌地域労組(派遣)、現業公企評議会、政治部、道民運動部まで各部署を担当した。自治労共済では査定を担当し、組合員を守る立場に立ち事故解決に積極的に関与した。また、札幌地域労組派遣を経験し、民間労働者の相談や組合づくりなどを経験した。

安心・平和な社会をめざして頑張ります!

# 2015年度道本部執行体制



森下 元 (八雲町職労)

組織部長



大西 誠 (苫小牧市職労)

組織部長 (現業公企評事務局)



和田 英浩 (砂川市職労)

組織部長



西野 浩二 (全道庁労連)

賃金労働部長

## 組織労働局



佐々木直人

組織部次長(書記)



根本 圭

賃金労働部次長(書記)



三浦 亨 (北見市労連)

臨時執行委員 (自律的労使関係対策)



高橋 望 (札幌交通労組)

特別執行委員 (自治労総合都市交通局東北北海道ブロック連絡会担当)



難波 優 (富良野市労連)

副執行委員長 総合政策局長



藤盛 敏弘 (函館市職労)

副執行委員長 組織労働局長



山上 潔 (全道庁労連)

執行委員長

## 4役(企画会議)



三浦 正一 (斜里町労連)

全労済自治労共済本部北海道支部事務局長



蒲池 仁 (全道庁労連)

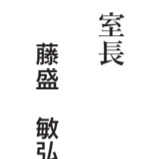
財政局長



大出 彰良 (名寄市職労)

書記長 企画総務局長

## 企画総務局



藤盛 敏弘

室長



今岡 忠男 (全道庁)

退職者会 事務局長



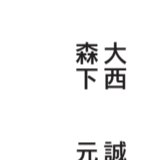
河井 勝

組織部次長(書記)



峰崎 直樹

学監 自治労北海道学校



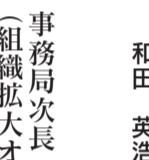
大西 誠

委員



吉田 雅人

事務局次長 (組織拡大オクルグ本部書記)



和田 英浩

事務局次長



松岡 敏裕 (石狩市職労)

次長 組織拡大専門員



瀧口 和成 (日高町職)

青年部長



戸村のぞ美 (中標津町労連)

女性部長



高久保雅子

事務職員



谷川 広美 (直属支部)

会計部長



三浦 亨 (北見市労連)

政治部長



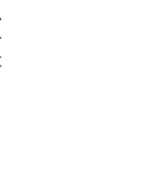
居橋 真人 (札幌病職労)

公共サービス政策部長



舟橋 圭子

室長



難波 優

事務局長



鈴木 光司 (全道庁労連)

監査委員



柳田 基貴 (全道庁労連)

自治体政策部長



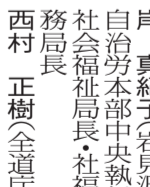
居橋 真人 (札幌病職労)

研究員(嘱託職員)



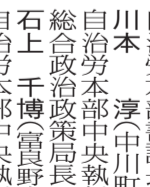
酒井 康弘 (全道庁労連)

事務局長



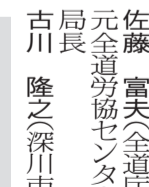
西村 正樹 (全道庁労連)

事務局長



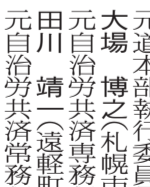
岸 真紀子 (岩見沢市職)

自治労本部中央執行委員



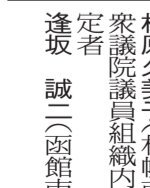
石上 千博 (富良野市労連)

自治労本部中央執行委員



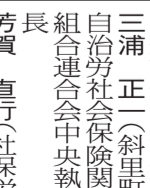
川本 淳 (中川町職労)

自治労本部中央執行委員



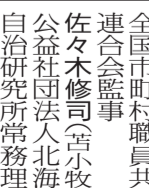
逢坂 誠二 (函館市職労)

参議院議員



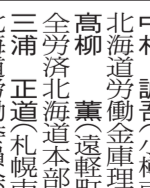
相原久美子 (札幌市職連)

参議院議員



佐々木修司 (苫小牧市職労)

参議院議員



中村 誠吾 (小樽市職労)

参議院議員